

# 新たな感染症とともに



皆様の疑問や不安にお答えします ※Q1～Q5は、VOL.1 (5/29号)に掲載されています。

**Q6. 富山県は現在感染が収まっていますが、いつまで厳しい感染対策をしないといけないのですか？ニュースを見ると様々な学校の取組が紹介され、同じように学校でやっていないと、対策が不十分なのではないかと不安になります。**

毎日、全国で様々な感染対策が紹介されています。そこからは、「未知のウイルスから子どもたちを守らねば」という先生方の必死な思いが伝わってきます。しかし、医学的データを基に考えると、一生懸命になるあまり、過剰と思われる対策も多く見受けられます。例えば、フェイスシールドや衝立は常時必要なものではありません。子どもたちが落ち着ける、「学びの環境」も守らなくてはなりません。

新型コロナウイルス感染症の潜伏期は5日程度、長くても2週間と言われており、潜伏期間を一つの目安に、注意深く感染拡大が起きないか観察を行っていきます。特に問題がなければ2週間～1か月の単位で評価し、過剰と思われる感染対策は徐々に簡素化を進めていく予定です。

消毒等の感染対策については、現在のところ、インフルエンザや感染性胃腸炎の流行時と同じように考えてください。消毒は、有効性の確立している方法で忠実に行うことが重要です。

## 校内の消毒について

教室やトイレなど児童生徒等が利用する場所のうち、  
特に多くの児童生徒等が触れる箇所を1日1回以上、  
消毒液（消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウム等）  
を使って拭き取る。



例：ドアノブ、手すり、スイッチ

児童生徒の机については、個人で使用するものなので通常の清掃（水拭き）で問題はない。

「多くの人の手が触れると、感染リスクが高くなるのではないかと心配だ」という声も聞かれますがプリントやノートに触れることまで心配する必要はありません。慎重すぎる感染対策は、大きな効果が得られない一方で学校生活を継続する上で不要なストレスを生み、偏見・差別につながる懸念があります。感染対策にはメリットだけではなく、デメリットも付きもので、時にそれが重大な問題を誘発することもあり、過信しないことも必要です。

**Q7. 床にウイルスが落ちていると聞きました。子どもたちは、清掃活動をしてはいけないのですか？**

新型コロナウイルス感染症患者在入院している病室の床から、ウイルスが見つかったという報告は確かにありました。

だからといって、元気な子どもたちの生活する場所を、同じリスクで考える必要はありません。子どもたちが学校生活に慣れてきたら、しっかりと換気をしながら清掃活動をするに問題はないと思われます。清掃活動後は、手洗いをしっかりとすることが重要です。

ただし、感染者の便中にウイルスが含まれていることが分かっており、そこに感染力があるかどうかはまだ不明ですが、しばらくトイレ掃除は子どもたちにはさせないことにしています。



## Q 8. マスクを付けていると熱中症のリスクが高くなるのですか？

夏期の気温・湿度が高い中でマスクを着用していると、吐いた息を再び吸い込むことになるため、体内に熱がこもりやすく、熱中症のリスクが高くなる恐れがあります。また、湿度の高い呼気を吸い込むと、のどが常に潤うので、のどの渇きを感じにくくなり、水分補給を怠ってしまうことにもなります。

そのため、暑くなるこれからの季節は、次の3点にも気を付けてください。

- ①マスク着用時は、強い負荷のかかる作業や運動は避ける。
- ②屋外で、人と十分な距離が確保できる場合には、熱中症のリスクを考慮しながらマスクを外し、自然の外気を吸うなど柔軟に対応する。
- ③のどが渇いていなくても、休み時間毎に定期的に水分補給を行う。登校の際は、十分な水分を準備する。



マスクはあくまで感染対策の一手段です。ご家庭でも、お子さんに「息苦しいとき」「周囲の人との距離が十分にとれているとき」などは、マスクを外してもよいことを伝えてください。

無理をしないこと、させないことは熱中症予防の基本です。

## Q 9. 修学旅行等が中止になっている市町村もあります。富山市は、どのように考えていますか？



富山市立中学校の修学旅行は、9月初旬～11月初旬に延期しています。是非実施したいと思う反面、「訪問地の感染状況はどうか」「バスや列車で長時間移動することのリスクはどうか」「バイキング形式の食事にはリスクがあるのか」など、心配な点もたくさんあります。

専門家の意見も、「1つのウイルスが長く居座ることは性質上難しいので、夏には一旦収まるのではないか」「秋冬には再び流行するのではないか」など様々です。

これらの行事は子どもたちにとって貴重な体験ができる機会なので、工夫をすることで実現することができないか知恵を絞りつつ、一方では正確な感染リスクの評価を行い、冷静に議論していく必要があります。

富山市では、各中学校とPTAとで連携しながら、修学旅行等の学校行事の有無を決定していきます。

## Q 10. 給食が始まりますが、白衣を共用することに感染リスクはありますか？

現在、1週間使用した白衣を週末に洗濯し、次の当番が月曜日にその白衣を受け取り、着用するというシステムを取っている学校が多くあります。普段は気に留めていなかったことも、この感染症をきっかけに一つずつ感染のリスクについて考えていくと、色々なことが不安に感じられます。

洗濯した白衣の共用については、これまでと同様に感染リスクは極めて低いです。しかし、情報が錯綜している中で、物を共用することに不安を感じておられる方がいらっしゃることも事実なので、各学校で判断し対応しています。

このリーフレットの内容については、必要に応じて改定することもあります。また、Q&Aは順次追加する予定です。

【事務局】富山市教育委員会 学校保健課(TEL 443-2136)